

景観まちづくりフォーラム in うらそえ 2018

～浦添グスクを中心とした 歴史文化の風薫るまちづくり～

入場
無料

浦添グスク
琉球中山国

基調講演

2018（平成30）年

『浦添グスクを世界遺産に、
聖域を守る景観づくり』

◆ 講師

宗田 好史 京都府立大学副学長



2月1日〔木〕

浦添市てだこホール【小ホール】

開場

午後5時30分

開演

午後6時

トークディスカッション

「浦添グスクを中心としたまちづくり、
グスク周辺の景観整備について」

◆ コーディネーター

池田 孝之 琉球大学名誉教授

◆ コメンテーター

宗田 好史 京都府立大学副学長

友寄 孝 沖縄しまたて協会技術環境研究所部長

松本 哲治 浦添市長



主催：  浦添市

後援団体： (社)沖縄県建築士会 浦添・西原支部／浦添市てだこ緑花会／浦添市建設技術協会
NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会

お問い合わせ先：浦添市役所 都市建設部 美らまち推進課 景観まちづくり係
TEL:098-876-1234(内線4071、4072) E-mail:tyuramachi@city.urasoe.lg.jp

開催主旨及び目的

琉球王朝の発祥の地である浦添市は、政治、経済、文化の中心で、豊かな歴史遺産及び、自然資源豊かな土地でありましたが、先の大戦や戦後の急激な復興、都市化により歴史遺産や地域の豊かな自然等の資源を失いました。また、昭和30年代頃からスプロール的に都市化が進行し、それに伴い、自然緑地の減少、住環境の悪化、良好な街並みの減少等の様々な都市問題が顕在化してきました。

そのような中で、浦添市では景観形成や住環境改善の方策として建築協定、地区計画、都市景観賞の制定などの取り組みを重ね、昭和63年度(1988年)に都市景観形成基本計画の策定、平成18年には景観行政団体となり、景観法に基づく景観まちづくり計画を策定いたしました。その後、平成20年には景観まちづくり仲間重点地区の指定を行い、浦添グスクを中心とした街並みの景観形成に取り組んできました。

なお、浦添市のシンボルである浦添グスクは、国の史跡として指定され、県営浦添大公園に組み込まれるなど、現在、歴史公園として整備を行っているところです。また、浦添グスクの世界遺産追加登録を目指す上で、グスク周辺地域をバッファゾーン*として整備を図る必要があることから、グスクの麓のまちに相応しい景観形成に努めているところです。

*バッファゾーンとは、緩衝地帯と訳され、世界遺産である対象物(資産)の周辺地域をさします。

世界遺産登録においては、バッファゾーンの設定が不可欠であり、対象となる資産(遺産)を取り巻く環境及び、景観を保護するため、法的(条例等)並びに、慣習的手法により利用・開発規制を敷く必要があります。

それらを踏まえ、浦添グスクの麓である県道浦添西原線沿線地区におきましては、バッファゾーンとしての環境まちづくりを推進した質の高い市街地の形成を図るため、高度地区、特別用途地区、景観地区が指定されており、建築物及び工作物の行為の制限を行っているところです。しかしながら、浦添グスク周辺における本地区外におきましては、都市計画上、明確な規制等を設定していない地区もあり、今後、高層建築物の計画が予定されているなど、本地区を含んだまちづくりに影響を与えかねない状況が想定されるところです。

また、平成31年度には沖縄都市モノレールの延長事業の開通に伴い、本市のまちづくりにおいて新たな転機となる時期を迎えており、浦添グスクを中心とした浦添らしい風景、歴史と未来が織りなす魅力ある都市を目指す景観まちづくりに関する取り組みは益々重要と考えます。

今回の「景観まちづくりフォーラムin うらそえ 2018」はこれらの状況を踏まえ、世界遺産追加登録を目指す上で浦添グスク周辺地域の景観整備の取り組みを市民の皆様へご理解いただくとともに、浦添グスクを中心としたまちづくりの推進を図ることを目的に開催するものです。

プログラム

■開場/午後5時30分 ■開演/午後6時

【主催者あいさつ】松本哲治(浦添市長)

■基調講演/午後6時10分

講演 講師 宗田 好史(京都府立大学副学長)

演題 『浦添グスクを世界遺産に、聖域を守る景観づくり』

■休憩/午後7時10分

【浦添市の景観まちづくりの取り組み

～浦添グスクを中心に～/午後7時20分】

【トークディスカッション/午後7時30分】

テーマ『浦添グスクを中心としたまちづくり、グスク周辺の景観整備について』

池田 孝之 (琉球大学名誉教授) コーディネーター

宗田 好史 (京都府立大学副学長) コメンテーター

友寄 孝 (沖縄しまて協会技術環境研究所部長) コメンテーター

松本 哲治 (浦添市長) コメンテーター

【閉会のあいさつ】宮城 剛(浦添市 都市建設部長) /午後8時30分

講師プロフィール



むねた よしふみ
宗田 好史

京都府立大学 副学長
京都和食文化研究センター長
大学院生命科学研究科 教授

1956年浜松市生まれ

イタリア・ピサ大学、ローマ大学大学院にて都市・地域計画学を専攻され、歴史都市再生政策の研究で工学博士(京都大学)。国際連合地域開発センター(UNCRD)を経て、現在、京都府立大学 副学長、京都和食文化研究センター長・大学院生命科学研究科 教授。国の社会資本整備審議会専門委員、京都市景観審査会委員、内閣府沖縄総合事務局美ら島沖縄風景づくりのためのガイドライン検討委員等を歴任。また、ユネスコに対して世界文化遺産の審査勧告を行う国際記念物遺産会議(ICOMOS)国内委員会理事、京都市景観まちづくりセンター理事等を併任。「町家再生の論理」「創造都市のための観光振興」「なぜイタリアの村は美しく元気なのか」など多数の著書があり、イタリアの観光振興や京都の町家再生などの分野で知られ、都市計画、景観計画、建築学等について、幅広い見識を所持。

参加申込方法

●参加希望の方は、下記の応募用紙にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。また、ハガキ、E-mailでもお申し込みいただけます。【定員300名】

●なお、事前に参加申込をされない場合でも、参加できますが、席に限りがあるため、入場できない場合があります。

※参加申込者の個人情報、当フォーラム運営のみに使用し、主催者側で責任を持って管理します。

■お問い合わせ先:浦添市役所 都市建設部 美らまち推進課 景観まちづくり係

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1 TEL:098-876-1234(内線4071、4072) E-mail: tyuramachi@city.urasoe.lg.jp

景観まちづくりフォーラムinうらそえ2018

FAX:098-879-7138

お名前	住所(市町村のみ)	職業(所属)
フリガナ		
フリガナ		
フリガナ		